

わ い ない し みず し し おどり
和井内清水獅子踊

- ◇ 指定日 平成8年4月15日
- ◇ 所在地 和井内
- ◇ 保持団体 和井内清水獅子踊保存会

昔、マタギの万三郎が手下48人を連れてこの地で狩猟をしましたが、獲物もなく途方にくれて1本の木の根元で休み、いつの間にか寝入ると、目の前に白山権現はくさんごんげんが現れ、そのまわりで数頭の青獅子がのどかに戯れていました。青獅子を見守る白山権現は、「人間はいかに生きる

ためとはいえ、毎日殺生をくり返している。たとえ獣であっても魂もあり、死んだ獣には霊もあるのに、それを慰霊もしないお前らには獲物は与えない」と言いました。それから、万三郎は手下と共に青獅子の遊び戯れる姿を踊りにし、太鼓と笛・鐘で囃して獣の霊を慰め、野山の豊猟と五穀豊穰、国家安泰、無病息災を祈願したといわれています。この時から、盆の14日と16日に宝鏡院の境内で、清水獅子踊りとして毎年踊るようになりました。

演目…庭廻し・太夫狂い・花狂い・一番庭・二番庭・三番庭

